

学校においては、教職員一人一人が経験年数に応じ、自らの役割と責任を自覚するとともに「常に学び続ける」その能力が十分発揮されることにより、自校の課題解決を図ることができる。そのため、教職員が自らの資質能力の向上を図り、その職務を遂行するために自発的、積極的に研究と修養に努めることが重要である。

育成をめざす資質・能力

- 実際の社会や生活で生かすべく「知識及び技能」の習得
○未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成
○学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養

中頭指導行政の基本方針

最多・最大の最高を追求する中頭教育の創造
～地域に根ざし、共に子供の育ちを保障する魅力ある学校づくり～

- 「子供の意識と行動に適合した4つの効果のある指導
1 「自分への信頼」を醸成する勇気づけのボイスジャーナル
2 「規範意識」を育むための「人のことを大切にしておくこと」の徹底
3 目標設定に基づく主体的な学びづくり
4 子供のエネルギーを活用した自学・自発的活動と相互の勇気づけ

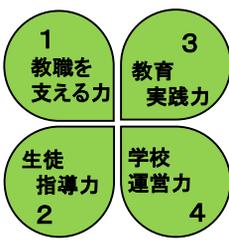
重点事項 学び合う教職員の資質・能力向上

Table with 2 columns: 取組事項 (1 授業研究と日常の授業を結び校内研修の充実, 2 校内OJTの充実による人材育成の推進, 3 授業力向上に向けた公開授業の実施, 4 教科部会や学年会等の充実による授業改善の推進) and 研修の視点 (1 複雑化・多様化した課題や変化が激しい時代の中で、新しい時代の教育への対応などができる学校教育を実現するために、教員一人一人が実践的な指導力などの資質能力の向上を図る。)

令和4年度の状況
中頭指導行政重点事項の達成状況の点検(11月)と人事ヒアリング(8月)
○定期の週案の提出・押印 小(84.2%) 中(87.5%)
○問いサボ活用・授業改善 小(充実:30.3%) 中(充実:20.0%)
○校長の授業参観 小(7.7回～8.4回) 中(5.9回～7.3回)
○教頭の授業参観 小(4.4回～4.8回) 中(3.1回～4.3回)
○授業を補完する補習の時間確保 小(52.3%～47.1%) 中(26.7%～18.3%)
○指導案作成をともなう授業実践の機会 小(60.6%～67.6%) 中(30.3%～37.5%)
○全国学調の分析・考察、情報共有 小(51.5%～55.9%) 中(16.7～31.3%)
○めざす子供の姿、授業様、学校校長講話の共有 小(69.7%～79.1%) 中(56.7%～61.3%)

- 国・県の施策
○教育基本法第9条
○教育公務員特例法21条
○中教審教員養成部会
○教職員研修事業計画書
○学習指導要領(平成29年)
○小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)(平成31年)
○新沖縄県21世紀ビジョン基本計画
○沖縄県教育振興基本計画
○学校教育における指導の努力点
○沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトII
○「問い」が生まれる授業サポートガイド
○学校改善ツール・授業改善ツール・
○沖縄県学力向上推進本部会議からの提言

学校の取組
沖縄県公立学校教員に求める四つの力



- 1 教職を支える力
○倫理観・使命感・責任感
○教育的愛情
○豊かな人間性・学び続ける力
研修:指定・職務・課題・専門・特別
2 生徒指導力
○児童生徒理解
○個別指導・集団指導
○4つのポイントを生かす
・自己存在感の感受
・共感的人間関係の育成
・自己決定の場の提供
・安全・安心な風土の醸成
3 教育実践力
○授業実践力(教諭)
○学校保健実践力(養護教諭)
○食育推進力(栄養教諭)
4 学校運営力
○連携・協働
○安全・危機管理
○課題解決
○事務処理
○情報活用・管理

【教職員研修内容(授業)】

- ①教育課程編成・実施に関する研修
②校内における協働体制(チーム研修)に関する研修
③学力の向上を図る研修
④授業の改善に関する研修
⑤評価の改善に関する研修
⑥外国語教育・国際理解教育の充実を図る研修
⑦道徳教育の充実を図る研修
⑧特別活動の充実を図る研修
⑨特別支援教育の充実を図る研修
⑩ICT機器を有効活用した情報教育の充実を図る研修

【教職員研修内容(連携)】

- ⑪生徒指導の充実を図る研修
⑫キャリア教育の充実を図る研修
⑬職員の服務、倫理、幼児児童生徒の人権に関する研修
⑭平和教育の充実を図る研修
⑮学校における危機管理に関する研修
⑯環境教育の充実を図る研修
⑰へき地教育の充実を図る研修
⑱幼稚園・認定こども園・保育所教育の充実を図る研修
⑲学校図書館の充実を図る研修
⑳教員の地域連携の充実を図る取組

キャリアステージに応じた経験段階とステージ像

Table with 5 columns: 採用ステージ (1年目), 基礎ステージ (2~4年目), 充実ステージ (5~9年目), 発展ステージ (10~17年目), 指導ステージ (18年目以降). Each column contains descriptions of activities and goals for that stage.

わたーわらびの学力保障と成長保障

チーム学校「づくり」の推進

(臨任研) <初任研> <2年研> <3年研> <5年研> <中堅教諭等研> <自主研修> マンター(支援者)

Table with 5 columns: 参加型の研修会や指導案検討会及び指導と評価の一体化を図る授業改善による指導力の向上. Each column lists specific activities like '小グループによる指導案検討会' and 'グループ研修の充実'.

めざす教職員像
○人間性豊かで、教育者としての使命感と幼児児童生徒への教育的愛情がある
○幅広い教養と教職に関する専門的知識・技能を有し、常に学び続ける実践的指導力がある
○自然・歴史・文化に誇りを持ち、多様性を受容し、グローバルな視点を兼ね備えている
○豊かなコミュニケーション能力を有し組織力を活用できる総合的な人間力を持つ

かかわりのある授業研究や研修の成果を生かした実践的指導力の発揮 主体的・対話的で深い学びを推進する教師力

- 教科会、学年会、同僚やマンター(支援者)とのかかわりによる組織的な対応(組織文化の創造)
○授業研究会を実施するとともに、研修の成果を振り返り、実際の授業に生かす(RPDCA)
○指導と評価の一体化のために「単元の評価規準」を作成する(学習・指導改善)
1 子どもの姿や発表を丁寧にみる、聞く(捉える)
2 子どもの思いや考えを理解する(解釈する)
3 本時のねらいとの関係を考える(照合する)
4 どのように振る舞うか決める(判断する)
5 分かりやすく板書したり端的に発問したりする(振る舞う)

カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進